

NPO木野環境 調査研究部 実績

(2014年4月末現在)

年度	事業名	時期	発注元	内容
2000	環境報告書監査システム構築	通年	自主事業	環境報告書監査システム構築
	A地域ごみ定量化調査	1月	T研究所	公園内散乱ごみ調査
2001	淀川水系流域委員会撮影事業	通年	M研究所	会議記録映像
	環境報告書監査システム構築 安全農産供給センター収穫感謝祭	通年 —	自主事業 Aセンター	環境報告書のランキング 農家と消費者を結ぶ収穫祭の補助業務
2002	淀川水系流域委員会撮影事業	通年	M研究所	会議記録映像
	地域通貨による消費者と生産者をつなぐ 実証実験事業	—	NPO法人使い捨て時代を考える 会・地域通貨委員会	委員会の委員として参加、地域通貨の仕組みを開発
2003	地球温暖化防止シンポジウム	11月～2月	兵庫県I町	兵庫県I町主催 地球温暖化防止シンポジウム「市島町(ここ)から始める循環型まちづくり」の事務局
	淀川水系流域委員会撮影事業	通年	M研究所	会議記録映像
	環境報告書展	1月～3月	(財)京都市環境事業協会	「環境報告書」をテーマにした企画展示、ワークショップ、シンポジウムの企画運営
	京都省エネラベル	11月～	H研究所	京都府下の電気製品小売店に省エネ性能を表示したラベルを貼り付け、消費者に省エネ製品情報を提供
2004	淀川水系流域委員会撮影事業	通年	MJ研究所	会議記録映像
	京都省エネラベル	通年	H研究所	省エネラベル運営(店舗びWEB)・モニター調査、報告書作成
	琵琶湖市民大学事務局運営	4月～10月	琵琶湖市民大学	琵琶湖の周辺環境をめぐる市民・研究者・学生のネットワーク作りを目的に開いた3泊4日の合宿の事務局を担当
	アジェンダ22フォーラムエコツーリズムWG調整事務	通年	アジェンダ21フォーラム	京都市内の宿泊施設にKESを導入し、またエコツーリズムを推進するための各種アンケートを実施
	環境展示 コーディネート	1月～2月	(財)京都市環境事業協会	「環境にやさしい京の企業展」というタイトルで京都市内中小企業の環境対策企画展を企画作成
	環境報告書審査	2月	東洋経済新報社	東洋経済新報社の環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞の作業部会の一人として、約30冊の環境報告書を読み、審査基準に従い、一次審査を実施
	京都グリーン購入ネットワーク	通年	京都GPN事務局	全国グリーン購入ネットワークの地域組織である京都グリーン購入ネットワークの常任幹事及び広報コミュニケーション部会メンバーとして活動
2005	淀川水系流域委員会撮影事業	通年	MJ研究所	会議記録映像
	京都省エネラベル・全国省エネラベル	通年	H研究所	全体運営業務補助
	省エネマイスター実行委員会	通年	京都府地球温暖化防止活動推進センター	全体運営業務補助
	琵琶湖市民大学事務局事業	4月～11月	琵琶湖市民大学	学生、市民、研究者を中心に琵琶湖に関する講義や調査、ワークショップを行う合宿の事務局を担当
	京都エコツーリズム普及事業	通年	京のアジェンダ21フォーラム	修学旅行生向けのエコツーリズムのチラシの作成・Webの作成・旅館ホテル等への取材等の実施
	京都エコロジーセンター展示事業	11月～2月	(財)京都市環境事業協会	「エコツーリズム」をテーマにした展示の企画運営
	T市合併式典	3月～4月	H研究所	兵庫県丹波市の合併式典のコーディネート
	びっくり!エコ100選協力事業	7月～9月	びっくり!エコ100選実行委員会	京都高島屋にて環境問題に取り組んでもらうための展示・ワークショップなどを実施
	木材認証 ヒアリング調査	10月～1月	京都府地球温暖化防止活動推進センター	認証材がどのように動いているか、認証制度に関わっている方々の意識調査をヒアリング調査
	京都市 事業者向け環境学習テキスト作成	3月	(財)京都市環境事業協会	京都市が市内事業者に配布するための環境学習テキストを作成
	京エコロジーセンター事業者向け環境学習セミナープレゼン資料作成	3月	(財)京都市環境事業協会	事業者向けの環境学習セミナー資料作成及び講師派遣
	リユースびん普及啓発調査研究事業	9月～3月	京都市ごみ減量推進会議	リユースびんいり商品の実現に向けての働きかけとして、リユースびん識別マークの作成、メーカーへの協力依頼などを実施
	岡山県B市省エネルギーサービス事業	9月～3月	I研究所	建物等の省エネルギー診断
	大阪YMCA国際専門学校講師(環境論講師)	9月～3月	Y専門学校	環境論非常勤講師 毎週火曜日に40分授業×2コマ、高校1年生～3年生が対象
	環境報告書審査	2月	東洋経済新報社	東洋経済新報社の環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞の作業部会の一人として、約30冊の環境報告書を読み、審査基準に従い、一次審査を実施

年度	事業名	時期	発注元	内容
2005	京都グリーン購入ネットワーク	通年	京都GPN事務局	常任幹事及び広報コミュニケーション部会メンバーとして活動・グリーン発注サポートサイトの作成
	事業者向け、組織向け 環境関係講師派遣	通年	K町、財団法人京都市環境事業協会 ほか	自治体、企業の職員向け環境教育の講師を行った
2006	エントロピー学会事務局事業	通年	エントロピー学会	ニュースレターの発行、世話人会開催、名簿管理、会計など事務局業務
	びっくり！エコ100選2006事務局事業	4月～9月	びっくり！エコ100選実行委員会	実行委員会開催、協賛願ひ、WS調整、スケジュールング、冊子作成、会計など事務局業務
	省エネマイスター実行委員会	通年	京都府地球温暖化防止活動推進センター	全体運営業務、省エネ電球キャンペーン運営
	琵琶湖市民大学事務局事業	4月～11月	琵琶湖市民大学	学生、市民、研究者を中心に琵琶湖に関する講義や調査、ワークショップを行う合宿の事務局
	京都リユース協議会準備会事務局	通年	NPO法人地域環境デザイン研究所ecotone	リユースマークの管理、運営
	平成18年「地域省エネ型リユース促進事業(経済産業省委託事業)」調査担当	9月～3月	経済産業省(元請:京都硝子壺問屋協同組合)	京都におけるリユースびんシステム再構築に向けての調査
	バイオマス等未活用エネルギー事業調査事業	12月～3月	滋賀県高島市	雪室導入FS調査
	岡山県B市省エネルギーサービス事業	通年	I研究所	建物等の省エネルギー診断/省エネルギー機器導入施工管理 等
	環境報告書審査	2月	東洋経済新報社	東洋経済新報社の環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞の作業部会の一員として、約30冊の環境報告書を読み、審査基準に従い、一次審査を実施
	Y専門学校講師(環境論講師)	4月～3月	Y専門学校	環境論非常勤講師 毎週火曜日に40分授業×2コマ、高校1年生～3年生が対象
	京都グリーン購入ネットワーク	通年	京都GPN事務局	常任幹事及び広報コミュニケーション部会メンバーとして活動
事業者向け、組織向け 環境関係講師派遣	通年	K町、財団法人京都市環境事業協会 ほか	自治体、企業の職員向け環境教育の講師を行った	
2007	日立環境財団NPO助成事業雪室利用による地域活性化の可能性調査	4月～3月	自主事業	高島市における雪室貯蔵商品の消費者アンケート調査、雪室貯蔵食材の分析など
	エントロピー学会事務局事業	通年	エントロピー学会	ニュースレターの発行、世話人会開催、名簿管理、会計など事務局業務
	高島市重要文化的景観候補地調査資料集約業務	3月	滋賀県高島市	高島市畑地区の文化的景観要素を中心とした概要調査
	森林整備のあり方等に関する検討委員会委員派遣事業	～9月	京都府	検討委員会に委員として参加
	平成19年度新エネルギー・省エネルギー設備導入促進指導事業	10月～3月	経済産業省・資源エネルギー庁	統一省エネラベルの表示状況調査、家電販売店へのヒアリング、説明会・フォーラムの開催(全国12カ所)全国省エネラベル協議会加盟各団体と共同で実施
	K病院ごみ組成調査および減量提案	12月～1月	K病院	病院の事業系一般廃棄物における減量の可能性調査
	複合容器包装についての消費者および行政の分別実態調査	3月	株式会社N	複合素材の分別状況を行政の指導状況と消費者の分別実態を調査
	省エネマイスター事業補助業務	通年	京都府地球温暖化防止活動推進センター	京都府地球温暖化防止活動推進センターが行う省エネマイスター制度の一部手伝い
	リユースマーク共同事務局	通年	自主事業	再利用が保証されたリユースびんの登録マークの貼付け等を行う制度の事務局
	地域省エネ型リユース促進事業	9月～2月	経済産業省(元:京都硝子壺問屋協同組合)	京都市左京区の一部エリアでのリユースびんの販売・返却・回収システムの有効性モデル調査
	京都市ごみ減リユースびん委託事業	9月～3月	京都市ごみ減量推進会議	リユースびん普及へ向けての店頭表示などの活動
	事業系廃棄物に関するアンケート調査	5月～10月	T研究所	事業系廃棄物の組成アンケート調査
	京都エコツーリズム普及事業	4月～3月	京のアジェンダ21フォーラム	観光関連業者への環境配慮状況と他事業者との連携可能性についてのヒアリング調査
	Y専門学校講師(環境論講師)	4月～3月	Y専門学校	環境論非常勤講師 毎週火曜日に40分授業×2コマ、高校1年生～3年生が対象
京都グリーン購入ネットワーク	通年	京都GPN事務局	常任幹事及び広報コミュニケーション部会メンバーとして活動	
事業者向け、組織向け 環境関係講師派遣	通年	K町、財団法人京都市環境事業協会 ほか	自治体、企業の職員向け環境教育の講師を行った	
2008	滋賀県棚田ボランティア運営事務局	6月～3月	滋賀県	滋賀県の棚田地域の保全活動を行うボランティアの運営、地域との調整、関連する調査研究
	地域省エネ型リユース促進事業	12月～2月	経済産業省(元:京都硝子壺問屋協同組合)	中小容量のリターナブルびんの利用促進のため、小容量びんを用いた茶飲料の開発、及び南九州で広く用いられる中容量びんの返送ルートの開発事業

年度	事業名	時期	発注元	内容
2008	滋賀県高島市地域省エネルギービジョン策定業務	9月～1月	滋賀県高島市	地域省エネルギービジョン策定業務
	地域3Rモデル事業	9月～3月	環境省	京都市内におけるリターナブルびんの効率的な利用促進・回収方法を検討するモデル事業。
	京都市内省エネラベル表示状況調査等事業	2月～3月	京都市	京都市内における省エネラベルの表示状況の調査
	家庭ごみの業者収集が行われるマンション実態調査事業	1月～3月	京都市	一般廃棄物収集運搬業者が収集を行うマンション等の実態調査
	リユースびんキャンペーンの企画・実施	1月～3月	京都市ごみ減量推進会議	リユースびん普及啓発のためのキャンペーン企画・実施、装飾物のデザインと制作、キャンペーン時のアンケート調査の設計・実施・解析
	全国の使用済み蛍光灯および乾電池処理事業者調査	2月～3月	京都大学環境保全センター	全国の使用済み蛍光灯および乾電池の処理事業者を網羅し、その処理内容等について調査
	産業廃棄物処理事業者におけるリスクコミュニケーションヒアリング調査	7月～12月	株式会社N	全国の産業廃棄物処理事業者に、リスクコミュニケーションに関するヒアリング調査を実施
	事業系一般廃棄物に関する多分別収集の可能性調査	9月～2月	自主事業(京都市ごみ減量推進会議の助成金を利用)	事業系一般廃棄物の組成調査を行い、リサイクル率を割り出した
	Y専門学校非常勤講師(環境論)	4月～3月	Y専門学校	「環境論」「有機農業実習」非常勤講師 毎週火曜日に40分授業×2コマ、高校1年生～3年生が対象
	グリーン電力販売代理店	通年	E株式会社	グリーン電力の販売の代理店契約
	京都グリーン購入ネットワーク	通年	京都GPN事務局	常任幹事及び広報コミュニケーション部会メンバーとして活動
	エントロピー学会事務局事業	通年	エントロピー学会	ニュースレターの発行、世話人会開催、名簿管理、会計など事務局業務
事業者向け、組織向け 環境関係講師派遣	通年	K町、財団法人京都市環境事業協会 ほか	自治体、企業の職員向け環境教育の講師を行った	
2009	K大学非常勤講師(環境経営と法)	4月～9月	K大学	「環境経営と法」非常勤講師 週1回90分講義
	O産業大学非常勤講師(内部監査論)	4月～9月	O産業大学	「内部監査論」非常勤講師 毎週火曜日に90分講義
	Y専門学校非常勤講師(環境論・有機農業実習)	4月～3月	Y専門学校	「環境論」「有機農業実習」非常勤講師 毎週火曜日に40分授業×2コマ、高校1年生～3年生が対象
	「カーボン&グリーンビジネス入門講座」開催	5月	E株式会社	発注主と共同で、CDM・VER・グリーン電力証書に関するセミナーを開催
	滋賀県棚田ボランティア運営事務局	6月～3月	滋賀県	滋賀県の棚田地域の保全活動を行うボランティアの運営、地域との調整、関連する調査研究
	学校EMS事業	6月～3月	B市教育委員会	地域の小中学校4校にて、環境マネジメントシステムをキーにして、省エネルギーや3Rを普及啓発する事業の一環として、各学校の環境教育プログラムの策定、生徒への授業などを行った。
	京都の知恵と文化を生かした暮らし方サポートサイト「ぼちぼちと京都」の企画・実施・運営	8月～	京都府	有限会社時代工房と共同事業体として業務を受託ウェブサイト「ぼちぼちと京都」を作成し、記事の企画、制作等を行なう。発注元との契約期間は3月までだが、契約期間後も自立的運営をおこなって、ウェブサイトを継続させることが条件となっている。
	栄村ウェブサイト	2009年2月～2010年3月	有限会社J	K大学で受託している「田舎で働き隊！」の事業PRおよび活動報告WEBサイト作成のためのコーディネート業務。サイトの構造、レイアウト等の調整。
	川の市民活動ヒアリング(近畿管内河川流域における市民活動優良事例実態調査)	10月～3月	K事務所	近畿管内の河川流域において、地元自治体や市民の環境保全活動が活発な地域を数ヶ所選定し、現状と課題等について整理するとともに、今後の河川環境保全活動の普及啓発に資することを目的とした文献調査、ヒアリング調査を中心とした調査
	近畿地域循環圏形成推進調査業務	11月～12月	M研究所	環境省の「近畿地域循環圏形成推進調査業務」の一部調査。京都市役所内に設置されたエココンビニの効果測定、検証調査、来店者や周辺ビル勤務者へのアンケート、CO2削減効果等の計算、近畿圏の3R取り組み事例ヒアリング
	エコ商店街事例調査	11月～3月	京都市ごみ減量推進会議	全国のエコ商店街の事例調査を含む、これまでおこなってきたエコ商店街事業をまとめた商店街向け資料作成、新規にエコ商店街に取り組み商店街へのヒアリング調査
	オフィス町内会の仕組み構築に関する調査	11月～3月	京都市	他都市でのオフィス町内会の運営状況調査、オフィス町内会の仕組みを実践実験を行った上でごみ減量効果・資源化促進効果を調査
	地球温暖化防止活動推進センター内窓パンフレット制作	8月～2月	京都府地球温暖化防止活動推進センター	内窓の普及啓発のためのパンフレット制作
リターナブルびん普及プロジェクト関西集会	11月	Bネットワーク	生協メンバーを中心に活動しているびん再使用ネットワークの集会の話題提供とちらし制作	

年度	事業名	時期	発注元	内容
2009	蛍光灯リサイクル調査	12月～3月	K大学環境保全センター	日本国内での蛍光灯回収率調査、自治体回収率の調査および回収率の高い自治体へのヒアリング調査、海外自治体での先進事例調査
	再生受け皿100選	8月～2月	株式会社N	セメント、プラスチック成型加工、ボードメーカー、高炉、電力会社(火力発電)、製紙・パルプ、非鉄製錬の7つの業界の主要会社を網羅的にピックアップし、文献調査ならびにFAXアンケートにより、取り扱い再生利用原料・燃料とその量、種類、また受け入れ不可のものを調査。
	東近江市地域ビジョン策定業務	2009年2月～2010年3月	東近江市	地域ビジョンの策定のためのワークショップ等の企画設計・実施運営・記録・資料作成
	リターナブルびん飲料企画販売2009	4月～3月	自主事業	昨年、企画・販売を行った茶びんの販売継続とリターナブルびん普及促進協議会(大阪)が企画したりんごジュース「APPOO(アポー)」の企画サポート、販売を実施。茶びんについては、2009年10月に委託先の製造工場で中身風味不良を起し、販売中止中。
	ガラスびんリサイクル促進協議会シンポジウム開催 地域開催事務局	9月	G協議会 NPO法人J	発注主の企画したりターナブルびん普及のためのシンポジウム開催。これまで京都を中心につくってきたリターナブルびん利用のネットワークを生かして講演者や講師を依頼し、パネルディスカッションもおこなった。
	グリーン電力販売代理店	通年	E株式会社	グリーン電力の販売の代理店契約
	京都グリーン購入ネットワーク	通年	京都GPN事務局	常任幹事及び広報コミュニケーション部会メンバーとして活動
	エントロピー学会事務局事業	通年	エントロピー学会	ニュースレターの発行、世話人会開催、名簿管理、会計など事務局業務
事業者向け、組織向け 環境関係講師派遣	通年	K町、財団法人京都市環境事業協会 ほか	自治体、企業の職員向け環境教育の講師を行った	
2010	K大学非常勤講師(環境経営と法)	4月～9月	K大学	「環境経営と法」非常勤講師 週1回90分講義(後期「プロジェクト演習Ⅱ」の委嘱もあったが、受講者が少数のため開講されなかった。)
	O産業大学非常勤講師(内部監査論)	4月～9月	O産業大学	「内部監査論」非常勤講師 毎週火曜日90分講義
	R大学非常勤講師(環境管理・監査論)	9月～3月	R大学	「環境管理・監査論」非常勤講師 毎週火曜日90分講義
	K女子大学非常勤講師(ビジネスと環境Ⅰ・Ⅱ)	通年(前期・後期)	K女子大学	「ビジネスと環境Ⅰ」(前期)、「ビジネスと環境Ⅱ」(後期)それぞれ週1回90分講義
	Y専門学校非常勤講師(環境論)	4月～3月	Y専門学校	環境論非常勤講師 毎週火曜日に40分授業×2コマ、高校1年生～3年生が対象
	滋賀県琵琶湖森林づくりサポート事業	6月～3月	滋賀県	滋賀県琵琶湖環境部森林政策課との協働事業 滋賀県内森づくり活動団体の広報(団体の調査・リスト整備、広報用ウェブサイトの作成・管理)、森づくり活動団体の連会の場づくり(団体どうしの情報交換会の企画・運営等)
	滋賀県農村の魅力発信プロモーション事業	6月～3月	滋賀県	滋賀県内の地域資源(ひと、もの、場所、無形資産)調査、情報発信(ウェブサイト運営、情報誌・メールマガジンの発行等)、PR活動、コミュニティビジネスの可能性検討などをおこなった。ふるさと雇用再生特別推進事業の一環として2名を新規雇用。
	紀伊半島産木材からOA用紙製造プロジェクト	9月～3月	自主事業(林野庁補助事業 山村再生プロジェクト補助金)	紀伊半島産の木材からOA用紙を製造し、未活用の森林資源(間伐材等)を有効利用するために、継続的に利用してもらえるOA用紙を製造しようというプロジェクト。FS調査として、流通、コスト調査、協力林家、製紙会社調査等を行い、次年度からの実施するにあたる具体的計画、価格等を立案した。
	間伐材製品生産計画およびニーズ調査・PR活動委託業務	10月～3月	京都精華大学	京都精華大学が受託した「山村再生プロジェクト」(事業責任者:京都精華大学 山田國廣氏)補助金の業務の一端を担い、間伐材を使用した製品作成のための生産体制調査およびニーズ調査、道の駅等での展示調整、間伐材利用や森林保全に関する普及啓発を行った。
	アンケート集計作業および、冊子作成業務	7月～2月	K協会	医療保険適応に関する医療機関からのアンケート調査の取りまとめおよび、冊子整形作業の実施。
	東近江市地域ビジョン策定業務	10月～3月	東近江市	地域ビジョンの策定のためのワークショップ等の企画設計・実施運営・記録・資料作成
	業者収集マンションごみマッピング	10月～2月	京都市	一般廃棄物収集運搬業者が収集を行うマンション等のマッピング作業、一般廃棄物収集業者への収集量実態調査の集計・分析
K大学事業系一般廃棄物調査	2月～3月	K大学	大学内3学部の事業系一般廃棄物の組成調査	
包装材削減対策基礎調査業務	1月～3月	M研究所	京都市内企業の包装材削減対策ヒアリング調査	

年度	事業名	時期	発注元	内容
2010	産業廃棄物最終処分場・建設混合廃棄物処理実態調査	7月～2月	株式会社N	全国にある全産業廃棄物最終処分場を調査し、その基本情報、許可内容についてリスト化を行い、FAXにて処理単価についてアンケート調査を行い、結果をとりまとめた。加えて、公共の最終処分場については、個別に施設の容量や単価、廃棄物の受け入れ基準等について調査をした。 また、保健所設置自治体に、建設混合廃棄物処理の方法等についてアンケート調査を行い、結果をとりまとめた。
	グリーン電力販売代理店	4月～3月	E株式会社	グリーン電力の販売の代理店契約
	京都グリーン購入ネットワーク	通年	京都GPN事務局	常任幹事及び広報コミュニケーション部会メンバーとして活動
	エントロピー学会事務局事業	通年	エントロピー学会	ニュースレターの発行、世話人会開催、名簿管理、会計など事務局業務
2011	廃塩ビ製品に関する実態調査	8月～3月	株式会社N	日本国内で使用後の廃塩ビ製品が、どのような流通経路をたどり輸出されているのか、また輸入している諸外国ではどのような製品になっているかの国内調査（FAXアンケート調査および電話ヒアリング調査）、海外調査（現地ヒアリング調査）を行った。
	「包装材削減ガイドライン」検討業務	12月～3月	M研究所	下記ふたつの調査を行った。 KYOTOエコマナーの効果の調査：京都市内にあるコーヒーチェーン店でのマイボトル持参およびスタンプ押印等の市民の取組状況を把握 市内事業者の実態調査：京都市内のさまざまな業種の事業者による容器包装削減の取組の実態、およびガイドライン発効に期待することなどをヒアリング調査した。
	京都の知恵と文化を生かした暮らし方サポートサイト「ぼちぼちと京都」の企画・運営	通年	京都府地球温暖化対策課	2009年に有限会社時代工房と共同事業体として業務を受託し、ウェブサイトを継続させることが条件とであり、運営を行っている。
	滋賀県琵琶湖森林づくりサポート事業	12月～3月	滋賀県森林政策課	県内の森づくり団体の情報をとりまとめた、ウェブサイト「森づくりネット・しが」をバージョンアップするべく、新たなコーナーをいくつか設置するとともに、先進事例を調査し、それをそれぞれの活動に活かしていただくべく取材と記事作成を行った。また、一昨年のワークショップから一歩すすんだ形で、「人」をテーマとして、それぞれの活動の中での課題を出し、解決方法について話し合いを行った。
	児童・生徒等の自然体験調査事業業務	10月～3月	滋賀県環境政策課	滋賀県内の児童生徒の自然体験の実態を把握し、フローティングスクール等を効果的な環境学習推進施策の基礎資料とすることを目的とし、下記のアンケート調査を行った。 (1)小学生・中学生・高校生の自然体験の状況調査 (2)幼稚園・保育所等での自然体験の状況調査 (3)びわ湖フローティングスクールに関する意識調査
	滋賀県農村の魅力発信プロモーション事業	4月～3月	滋賀県農政水産部農業振興課	(1)地域資源の調査 (2)情報発信 1. ウェブページ「田舎体験しが」のコンテンツ充実 2. 情報誌の発行 リリーフレット制作・BlogとTwitter連動による情報発信 (3)県内・県外への広報活動 1. ふるさと帰郷フェア(大阪・東京) 2. 田舎暮らしフェスタ 3. 田舎暮らしシンポジウム への出展を実施 (4)コミュニティビジネスの可能性検討(マキノ町野口地区にてWS等の活動実施) (5)地域活動のネットワークづくり交流会、成果報告会などの会合を企画・開催
	東近江市地域ビジョンおよびロードマップ策定業務	10月～3月	東近江市	2009年から実施していた、市民ワークショップによる滋賀県東近江市における2030年の将来像づくりを受けて、ビジョン実現のためのロードマップづくりワークショップを企画、運営した。
	近畿地域における戦略的CSR活動に取組む中小企業の実態調査	11月～2月	近畿経済産業局	近畿地域における社会貢献活動および、社会課題解決を戦略的に事業化する中小企業の実態についてヒアリング調査し、成功事例抽出・課題分析・政策ニーズを把握し、今後の戦略的CSR活動の創出の基礎資料とすべく事例集を作成した。
びんリユースシステム構築に向けた実証事業 関連調査	通年	Y商店	株式会社やまやグループが実施する中容量びんリユースの取組みに合わせ、洗びんを行なう吉川商店が連携して、やまやグループの商品流通の中でリユースされる中容量P箱を作成。やまやグループによる900mlびんリユースと首かけPOPの活用でびんリユース定着を狙った。 木野環境では、びんリユースに関わる各事業体のヒアリング調査を実施、また来店経験者を対象にインターネットアンケートを実施、リユースの受容性について調べた。	

年度	事業名	時期	発注元	内容
	滋賀県魚のゆりかご水田プロジェクト推進協議会	7月～2月	滋賀県魚のゆりかご水田プロジェクト推進協議会	農林水産省 食と地域の交流促進対策交付金によって採択された「滋賀県魚のゆりかご水田プロジェクト推進協議会」における「魚のゆりかご水田プロジェクト」およびその栽培米のPR活動事業。 主に、Blogを使用した情報発信、活動通信「ととゆら」の発行、エコプロダクツ2011を始め都市圏での出展への協力等に従事。
	大学等講師	通年	K大学、O大学、R大学、K女子大学、OY国際専門学校 国際高等課程国際学科	大学等の非常勤講師として、「環境経営と法」「内部監査論」「環境管理・監査論」「環境論」「有機農業実習」
	エントロピー学会事務局事業	通年	エントロピー学会	ニュースレターの発行、世話人会開催、名簿管理、会計など事務局業務
	神戸市 ISO14001研修等業務 2012	4月～3月	神戸市地球環境課	<ul style="list-style-type: none"> ■研修における講演 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幹部研修 ・ 内部環境監査委員養成研修 ■研修資料の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ ISO14001自主学習資料作成 ・ ISO14001更新審査・内部環境監査等への参加及び助言 ■内部環境監査に関する助言 <ul style="list-style-type: none"> ・ 更新審査への参加および指摘事項等に関する助言 ・ 神戸市の環境マネジメントシステム運用等に係る助言 ■他の政令指定都市におけるISO14001の取得状況に関する調査
	大学等講師	通年	K大学、O大学、R大学、OY国際専門学校 国際高等課程国際学科	大学等の非常勤講師として、「環境経営と法」「内部監査論」「環境管理・監査論」「環境論」
	事業ごみ減量に向けた雑がみの資源化調査業務	11月～3月	京都市事業系一般廃棄物対策課	<p>事業内容としては下記である。</p> <p>(1)アンケート調査:市内事業所に対し、「雑がみ」に関するアンケート調査を実施し、廃棄物の量や分別などの排出状況とともに、「雑がみ」分別に対する意識や課題を把握する。</p> <p>(2)ヒアリング調査:(1)の調査結果等を活用し、各業種から事業所を数社選定して直接ヒアリングを行い、紙ごみ減量に向けた取組について、具体的な内容およびその効果や課題などを聴取する。また、先進事例を収集し、活用できる事例について検討する。</p> <p>(3)「雑がみ」の資源化方策の検討:業務負担の少ない分別方法や費用負担の少ない効率的な回収システムなど、ターゲットに適した資源化方策を検討する。</p>
	環境教育テキスト作成業務	5月～10月	株式会社T	全従業員に対する環境教育用のテキストを作成した。若い女性スタッフでもわかりやすい、そして、外部にも配布できるような環境教育用のテキストを作成したいとの依頼があり、イラストを多用し、「T社で働いていることを誇りに思える」ような、内容とした。
2012	ごみ減量調査	1月～3月	京都大学環境科学センター	<p>京都大学では、ごみ分別に関して、統一した規則等はなく、各学部や研究室等に全て任されている状態である。今後「ごみ分別ノストップステーション」をつくるにあたり、ごみ排出の現状を把握するとともに、省エネ行動の現状も併せて把握する。</p> <p>(1)京都大学総合研究2号館における、各研究室のごみ排出量状況の調査 ・アンケート対象研究室等の位置・人員・用途等の把握 ・アンケート調査(研究室ごとおよび個人用)実施・回収</p> <p>(2)薬学部における、省エネに取り組むための実験機器類の電気消費量調査 薬学部ではごみ減量よりも省エネが最優先課題ということで、省エネに取り組むための電気消費量調査を実施することとなった。 ・対象研究室(2研究室)の選定、所有機器類の洗い出し ・ヒアリングシート、手順の</p>
	美味しい「食」の情報発信(WEB用コンテンツ作成)	4月～3月	滋賀県農政水産部食のブランド推進課	滋賀県が県産食材のブランド力向上の為に設けている県産食材の情報ポータルサイト「滋賀の美味しいコレクション」に掲載するコンテンツづくりを実施。

年度	事業名	時期	発注元	内容
	近江から始める地域コミュニティ再構築事業	6月～3月	びわ湖・流域暮らしとなりわい創造会議	滋賀県が行う新しい公共の関連事業に事業提案し受託。滋賀県内NPOのNPO法人碧いびわ湖(環境生協の後継団体)と、滋賀県立大学 上田洋平助教、その他県内の農村地域で活動する団体等と任意団体「びわ湖・流域暮らしとなりわい創造会議」を設立して事業を行った。 具体的には、県内団体のつながりづくりを行う相互訪問型のWSや、京都・大阪などの下流域の活動団体と県内団体の交流をつくるため京阪神地域でのWS開催を経て、「飛び地の入会」離れた地域でもつながりを通じて助け合い気にかけあう仲間づくりを行った。
	レシピ審査に関するアンケート集計作業および、冊子作成業務	12月～3月	京都府保険医協会	医療保険適応に関する医療機関からのアンケート調査の取りまとめおよび、冊子整形作業を行った。
	マキノ町野口地区 路原分校卒業生の集い マキノ駅前空間創造ワークショップ	6月～3月	一般社団法人めいどいんマキノ	2011年度に実施した滋賀県事業の一環で派生した取り組みの活動支援を実施。 (1) マキノ町野口地区の廃校になった「路原分校」跡地にて卒業生の集いを開催。高齢者が多数を占める地域で、転出した住民と地域に住まう住民のつながりを深めるイベントを開催。 (2) 駅前の事業者、自治体に関わり、駅前空間のにぎわいづくりを考えるWSにアドバイザーとして参加、実施されるイベント等の支援。
2012	ようきにへらそう 店頭アンケート調査	2月～3月	京都市ごみ減量推進会議	京都市ごみ減量推進会議が市内2店舗のスーパーマーケットを対象に実施した容器包装ごみ減量のキャンペーンの効果測定のための店頭アンケート調査。キャンペーン内容はポリ袋使用の削減、惣菜のプラスチックの廃止・紙包装への転換、精肉用トレーなどの廃止・ビニル袋包装の推奨等。
	滋賀県魚のゆりかご水田プロジェクト推進協議会	4月～3月	滋賀県魚のゆりかご水田プロジェクト推進協議会	「滋賀県魚のゆりかご水田プロジェクト推進協議会」における「魚のゆりかご水田プロジェクト」およびその栽培米のPR活動事業。主に、Blogを使用した情報発信、活動通信「ととゆら」の発行、エコプロダクツ2012をはじめ都市圏での出展への協力等に従事。
	エントロピー学会事務局事業	通年	エントロピー学会	ニュースレターの発行、世話人会開催、名簿管理、会計など事務局業務